

専大スポーツ

【専大スポーツ】<https://www.senshu-u.ac.jp/sports/>

No. 436



日本代表のメンバーと優勝を喜ぶ浦 (右端)

日本代表
浦 至児

金メダル獲得



AASFアジア選手権大会水球競技

AASFアジア選手権大会水球競技(11月7〜14日、タイ)で男子日本代表チームが優勝した。専大からはフロッタリーの浦至児(経営4・金沢市立工高)が出場し、金メダル獲得に貢献した。日本代表はグループリーグを全勝で突破すると、タイ、カザフスタンと大差で降り決勝進出。中国との決勝を10-7で制した。

「188cmの長身を生かしたプレーが魅力の浦は、「1年次から目標にしていた代表入りがかない、うれしかった」と話す。今大会は通算3得点を記録し、優勝という最高の結果で終えたが、「胸を張って活躍できたとは言えない。もっと自分の力を出せる場面があり、後悔している」と振り返った。

「今後は武者修行や大会などで、海外に行くことも増える。そこで力をつけて、また代表に選ばれるよう、真摯に取り組んでいく」と抱負を語った。(鶴本あい・法2)

菊池 V

男子1万円
2位に大差



圧倒的な滑りを見せた菊池
撮影=相川直輝(文3)

全日本学生スピードスケート選手権大会(12月10〜11日、群馬県・高崎健康福祉大学伊香保リンク)で出陣した菊池は1周目からトップのラップタイムを記録。「ラップタイムをキープできることが強み」という言葉通り、タイムを落とすことなくレースを進めると、6800m地点から加速し、2位に31秒差をつける圧倒的な滑りだった。

菊池は「今季は思ったような結果が出ていなかった。ラップタイムをもう少し早くまとめたい」と向上心を見せた。得意の後半勝負に持ち込むためにも、「序盤から競っていきける選手にならなければ、世界のトップ選手とは戦えない」と、世界大会出場を目標に成長を誓った。

野々村、菊池 3位入賞

全日本スピードスケート選手権大会(12月28〜30日、青森県・YSアリーナ八戸)では、1000mで野々村太陽(経営3・白樺学園高)、1万円以上で菊池がともに3位に入賞した。(山縣龍人・法3)

小林 有終 2位

72kg級

全日本レスリング選手権大会(12月22〜25日、世田谷区・駒沢総合体育館)

小林奏音(ネット情報4・市立太田高)が女子72kg級で2位に輝いた。小林は決勝で昨年度覇者の新倉すみれ選手(神

大)と対戦した。後半に猛攻を仕掛け、5-7までスコアを縮めたが惜敗していたが、攻めきることができなかった」と振り返った。

卒業後は就職が決まっており、これが引退試合となった。競技人生を有終の美で飾った小林は、5歳から続けてきたレスリングについて、「完全燃焼できたかなと思ってい

る。社会に出ても、レスリングで学んだ、工夫してやり切る力を生かしていきたい」と語った。(山縣)

古瀬、伊藤が優勝
東日本学生



粘りを見せたダンカン

悔しさ糧に挑戦は続く

「箱根駅伝 総合20位」

シード権獲得区で栗江倫太郎(経営3・三浦学苑高)が「自分でもびっくりした」と話す好走で区間7位。昨年に続いて2区を任せられたダンカン・キサイサ(経営2・大分東明高)も三つ順位を上げるなど、各選手が粘りの走りを見せた。

来年の第100回大会は全国に門戸が開かれ、出場枠争いが激化する。3年間の経験と悔しさを糧に、陸上競技部の挑戦は続く。(相川||写真)

上野 学生日本一!

59kg級

全日本学生パワーリフティング選手権大会(12月25日、岡山県・シッパアリーナ岡山)

ボディビル部の上野秀樹(経営4・住吉高)が男子59kg級に出場。スクワット160kg、ベンチプレス120kg、デッド

リフト210kgの合計490kgで優勝し、学生日本一に輝いた。

大会前、「学生最後の大会で、必ず優勝する。部を宣言していたので、有



スクワットに挑む上野

専大スポーツ
編集部
公式WEB

Twitter @sensuponow
Instagram sensuponow

快進撃 宮本 4位



得意のバックハンドで攻める宮本
提供:卓球レポート/Butterfly

全日本学生選抜卓球選手権大会(11月26〜27日、北海道・苫小牧市総合体育館)

男子シングルスで、宮本大輝(文2・希望が丘高)が快進撃を見せた。4位入賞を果たした宮本は「正直」まで勝ち上

がれるとは思っていません」と驚いた様子で振り返った。

得意のバックハンドを武器に、目標の決勝トーナメントに進めた宮本。目標を達成したことで「気持ちが楽になり、のびのびとプレーできた」と難なく勝ち進んだ。準決勝、3位決定戦に敗れ、「自信はついたが、悔しさの方が大きい。課題をしっかりと克服し、日本選手権で力を発揮したい」と力強く語った。(河上明来海・文2)

記録コーナー

▽ラケット部
▽関東大学リーグ戦1・2部入れ替え戦(12月11日) 専大25-39 大東大 ※2部残留
▽バスケットボール部
▽全日本大学選手権大会(12月3〜11日) 男子ベスト8



登頂成功を喜ぶ部員たち。下は12月31日に撮影した日の出

山岳部 冬合宿 蝶ヶ岳登頂



山岳部が12月27日から31日まで、飛騨山脈(北アルプス)で冬合宿を行った。30日に蝶ヶ岳(標高2677m)に登頂成功。期間中は好天に恵まれ、2022年最後の日の出を目にした後、佐々木紳吾(法4・駒場学園高)ら5人は無事に下山した。